研 究 計 画 書

|  |  |
| --- | --- |
| ふりがな氏名 |  |
| 研究テーマ |  |
| 本プログラム受入教員 | 所属機関・職名：氏　　名： |

１．現在までの研究状況（図表を含めて、わかりやすく記述すること。字の大きさは10.5ポイント。様式の改変・追加は不可とする）

　①研究開始時における研究の背景、問題点、解決方策、研究目的、研究方法、特色と独創的な点について当該分野の重要文献を挙げて記述すること。

　②申請者のこれまでの研究経過及び得られた結果について整理し、①で記述したことと関連づけて説明すること。3.研究業績欄に記載した論文、学会発表等を引用する場合には、3.研究業績欄の番号を記載するとともに、申請者が担当した部分を明らかにして記述すること。

|  |
| --- |
|  |

２．これからの研究計画

（１）研究の背景（字の大きさは10.5ポイント。様式の改変・追加は不可とする）

　　1.で述べた研究状況を踏まえ、これからの研究計画の背景、問題点、解決すべき点、着想に至った経緯等について参考文献を挙げて

記述すること。

|  |
| --- |
|  |

（２）研究目的・内容（図表を含めて、わかりやすく記述すること。字の大きさは10.5ポイント。様式の改変・追加は不可とする）

①研究目的、研究方法、研究内容について記述すること。

②どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記述すること。

③共同研究の場合には、申請者が担当する部分を明らかにすること。

④研究計画の期間中に異なった研究機関（外国の研究機関等を含む）において研究に従事することを予定している場合はその旨を記述すること。

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
| （研究目的・内容の続き） |

（３）研究の特色・独創的な点（字の大きさは10.5ポイント。様式の改変・追加は不可とする）

次の項目について記述すること。

①これまでの先行研究等があれば、それらと比較して、本研究の特色、着眼点、独創的な点

②国内外の関連する研究の中での当該研究の位置づけ、意義

③本研究が完成したとき予想されるインパクト及び将来の見通し

|  |
| --- |
|  |

（４）年次計画（字の大きさは10.5ポイント。様式の改変・追加は不可とする）

研究予定期間：☐１年☐２年☐３年　　※いずれかにチェック

|  |
| --- |
| （若手研究者キャリア形成の観点から、1年、2年単位の雇用計画も認めるものとする）（１年目）（２年目）（３年目） |

３．研究業績（下記の項目について申請者が中心的な役割を果たしたもののみ項目に区分して記述すること。該当がない項目は「なし」と

記述すること。申請者にアンダーラインを付すこと）

（１）学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文または著書（査読の有無を区分して記載すること。査読がある場合、印刷済及び採録決定済のものに限る。査読中・投稿中のものは除く）

①著者（申請者を含む全員の氏名を、論文と同一の順番で記載すること）、題名、掲載誌名、発行所、巻号、pp開始頁－最終頁、発行年をこの順で記載すること。なお、著者の所属・職については脚注に記載すること。

②採録決定済のものについては、それを証明できるものを添付すること。

（２）学術雑誌等又は商業誌における解説、総説

（３）国際会議における発表（口頭・ポスターの別、査読の有無を区分して記載すること）

著者（申請者を含む全員の氏名を、論文等と同一の順番で記載すること）、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載すること。発表者に○印を付すこと。

（４）国内学会・シンポジウム等における発表

(3)と同様に記載すること。

（５）特許等（申請中、公開中、取得を明記すること。ただし、申請中のもので詳細を記載できない場合は概要のみの記載でよい)

（６）外部資金申請・獲得状況（学振特別研究員等の申請実績以外の申請・取得を明記すること)

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
| （研究業績の続き）　 |

４．受入教員（受入研究室）選定理由書

①受入教員（受入研究室）を希望した理由を記載してください。

②400字以内で要約すること。

|  |
| --- |
|  |